

⑤ やさとの茅葺き民家 U20 絵画&写真展

日程／場所

描く会

平成 24 年 12 月 23 日（土）／大場克巳家（石岡市佐久・国登録有形文化財）
27 日（木）／萩原善一家（石岡市山崎）

作品展

平成 25 年 2 月 12 日（火）～3 月 1 日（金）／スーパーカスミ八郷店（石岡市柿岡）
3 月 3 日（日）／朝日里山学校（石岡市柴内）

対象 八郷地区内中学校の生徒

参加者 柿岡中学校、園部中学校、有明中学校生徒 計 23 人、作品数 21 点

見学者 延べ約 2000 人

冬休みの 2 日間、地元中学生を対象にした写生会を行いました。日程については参加各中学校と相談のうえ、生徒たちの集まりやすい時期を設定。地域内の 3 校から 1、2 年生の希望者 21 人が参加しました。

八郷周辺の茅葺き屋根と茅場について、より深く知ってもらうため、写生に先だって当会および家主より説明を行うとともに資料を配付。会場には担当の先生や、校長先生にもお越しいただき、地域の価値ある資源のひとつとしての茅葺きと茅場、それを支える農村文化についてご理解いただきました。

作品は地域内で利用者の多い店舗の壁面を借りて 20 日間にわたり展示。また、やさと茅葺き見学会・交流会の会場となった朝日里山学校にも掲示しました。中学生の絵画には足を止めて眺める人も多く、茅葺き民家への地域内の関心を高めました。

なお、写真展については残念ながら期待した作品が集まらず、今後課題を残しました。描く会での作品は好評につき、本事業期間終了後にも引き継ぎ、①で行った銚田第二高校写真部による茅葺き民家の写真作品と合わせて、つくば市内の人気商業施設「イースつくば」にて平成 25 年 5 月の展示を予定しています。



写生会は各校校区内の 2 会場で行いました。園部中学校では萩原家での開催が今年で 4 回目となり、生徒だけでなく先生や保護者のあいだにも茅葺き民家への理解が進んでいます



やさと地区の中心部に立地するスーパーカスミの店頭展示では、たくさんの人が買い物の足を止めて作品を眺めました

⑥ やさと茅葺き見学会・交流会

日程 平成 25 年 3 月 3 日 (日)

場所 朝日里山学校 (石岡市柴内)、坂入家 (石岡市辻、国登録有形文化財)、辻・菖蒲沢集落

対象 筑波山麓茅刈り隊参加者、会員、一般市民

参加者 約 50 人

春の見学・交流会は、筑波山麓茅刈り隊に参加したボランティアへの感謝を込めた催しとして毎年行っています。茅刈り隊に参加していない一般市民も対象とした企画ですが、リピーターの比率も高いため、年ごとにテーマを変えた新鮮な内容が求められます。

今年のテーマは茅葺き民家と周辺の農村景観。新しい文化財制度として知られつつある「文化的景観」の視点から、茅葺き民家を含めたやさとの農村景観を歩き、具体的にどのような風景に文化的価値が認められるのかを探りました。

講師は「文化的景観」や「世界遺産」を専門とする筑波大学の黒田乃生先生。午前中は先生と一緒に現地を歩き、先祖から綿々と引き継がれた生活文化と、その成果としての景観を探訪します。交流会を兼ねた昼食ののち、午後からは「やさとの農村景観、その価値と可能性」を演目に、黒田先生よりご講演をいただきました。

暮らしているとあたりまえで気づかない「やさとの価値」を、あらためて実感した一日。茅葺き民家を含めた農村景観を上手に生かす方法を模索する必要があると、考えさせられた企画でした。



午前中は登録有形文化財の坂入家、辻集落、さらに集落の裏山に通じる薬師古道を散策し、茅葺き民家と周辺の農村景観を観察しました



午後からは黒田先生による講演会。会場の朝日里山学校はもと小学校だった木造校舎です